



『麻生読み』を読んだ 機械工学科4年生の感想

都立産業技術高専

ものづくり工学科教授 吉田喜一

麻生首相は以下の通り読んだそうです。

- 踏襲（ふしゅう）・措置（しよち）・有無（ゆうむ）・詳細（ようさい）・前場（まえば）・未曾有（みぞゆう）・頻繁（はんざつ）・実体経済（じつぶつけいぎ）・迷惑（しわく）・低迷（ていまい）・順風満帆（じゅんぼうまんぼ）・破綻（はじょう）・焦眉（しゅうび）です。

- 漢字間違いくらい許してやれよ、と思ったがこれはひどい。
- この人で大丈夫なのか、心配になった。
- トップになる器ではないと思う。
- 漢字読めなくても生きていけるからがんばってほしい。
- 今の総理大臣はバカすぎる！もっと勉強してもらいたい。
- ここまで間違えていると、意味を分かって使っているのか疑わしい。首相を決める時も筆記試験をやった方がいいのでは？なんて事を思った。
- さすがにこれはまずいと思った。
- 首相の国語力は高専生以下、字も読めないが、きっと空気も読めないから問題発言が多いんだろう。
- 文系が得意でない高専生でもそこそこ読めているのに、日本のトップが恥ずかしいと思った。
- 中学生でも読める漢字は読んでもらいたい。
- 漢字は難しいですよ。正直新聞読めないんじゃないですか。
- 念のため正解は、とうしゅう・そちうむ・しようさい・ぜんば・みぞう・ひんぱん・じつたいけいぎ・おもわく・ていめい・じゅんぶうまんぱん・はたん・しようびです。

■ノーベル賞を今年受賞した益川さんは英語が苦手という。得手、不得手は人にはあると思う。しかし、母国語についてはもう少し何とかならないか。

■こんな漢字が読めないの！？日本が心配だ。



一年の終わりに、 食について思うところ

今年も残すところあとわずかとなりまして、私は三十代前半、いわゆる「アラサー」ですが、何だか年々「1年」があつという間に過ぎ去っていく気がします。

さて、消費生活アドバイザーとしてこの一年を振り返ってみると、昨年が続いてとにかく食の安全と信頼が大きく揺らいだ一年だったと感じます。冷凍ギョーザ事件、牛肉や鰻の産地偽装事件、輸入あんから有害物質の検出、加工用米の不正転用；等々、きりがありません。つい先日、熊本県の生産者の顔写真付きパッケージの筒水煮が、実は中国産だったというニュースがあり、本当に何を信用して良いか分からなくなってしまうます。だからといって、今日から畑を耕して自給自足をするわけにもいきませんし、せいぜい、東北地方の農家の親戚から時々旬の物を送ってもらうのが限度です。

それにしても、私は海外との貿易を否定するわけではありませんが、こうも輸入食品絡みの事件が多いと、つい手に取ることをためらってしまうます。だいたい、日本国内には様々な理由で耕作されない田畑が相当あるといえます。「わざわざ海を越えて輸入しなくても、国内で生産できるのこっ



というの、おそらく多くの方が考える素朴な疑問です。「海外で生産した方が安いから」という理由で、遠くから多くの食品が輸入され、店頭に並ぶようになったのは、いつの頃からなのでしょう。

先に挙げた筒水煮のように偽装されてはかないませんが、一消費者としては値段が少々高くても国産品を支持したいと思えます。相対的に安全だから、ということもあり、何より国内の農水畜産業がもっと元気になってほしいと思うからです。今、地方の農村は疲弊しきついているところが少なくありません。表情豊かだった農地が、荒れ果てた草ぼうぼうの空き地になったり、はたまた資材置き場や巨大ショッピングセンターに化けていくのを目の当たりにするのは、車を愛でる旅好きな小生にとつて至極残念なことです。何より、国内の生産業を維持し、食糧自給率を上げることは、安全な食品を手に入れるためにも、地方に活力を与え、ひいては国内の経済を豊かにするために必要なことだと思えます。

一年間、ありがとうございました。来年もよろしくお願い申し上げます。良いお年を！【消費生活アドバイザー 佐藤 祐一郎】

◆メガネのサトウ◆
南千住5丁目43の13【コッ通り】
TEL 03 (3806) 4930

★営業時間のご案内★
平日・土曜：AM 10時～PM 7時30分
日曜・祝日：AM 11時～PM 6時30分

◎12月29日までは、休まず営業いたします。
◎12月30日～1月3日は年末・年始休業日でございます。ぜひ、お早めにご用命下さい。

◎1月4日は、AM 11時から営業いたします。

